

市民を代表する議員の皆様へ

懸念を持つ一市民として、このたびは全国のがん治療の格差を埋める即時かつ有意義な行動を求めするために、この文書を送付させて頂いています。この呼びかけは、世界中のがんの負担を軽減するために設立された最古かつ最大の組織である国際対がん連合（UICC）が2月4日に開催した、世界対がんデーのキャンペーンに合わせたものです。

がん治療の格差は、多くの場合、医療に関する社会的決定要因の結果として生じています。こうした要因によって、たとえ医療サービスが利用できる場合であっても、信頼できる情報や、不可欠ながんの予防、治療、ケアを受けることが多くの人々にとって困難になっています。

こうした状況は公衆衛生を弱体化させ、医療システムのコストの上昇につながります。さらにながんの発症リスクが上昇し、診断が遅れ、高額な治療を余儀なくされ、生存の可能性が低くなります。

これらの格差を緩和するために、私たちは、社会的・経済的地位に関係なく、また経済的困難に直面することなく、必要不可欠ながん治療のサービスにすべての人がアクセスできるように、以下の大胆な措置を講じるよう呼びかけます。

1. がん研究への資金提供を増やし、がん治療に関する格差を理解して対処するため、研究者や医療従事者、地域組織間の連携を奨励する。
2. 政策決定およびリソース配分の指針となる人口ベースのがん患者レジストリを整備し、治療管理の戦略を評価する。
3. 全国的ながんの負担に関するエビデンスに基づいた評価により、がんの予防、診断、治療、緩和、サバイバーシップケア、データ収集、モニタリングのために取るべき行動を規定し、十分なサービスを受けていない人々が直面する経済的困難や障壁に対処する、国としての効果的ながん対策の戦略を実施する。
4. 包括的ながんサービスを国民健康保険パッケージに組み入れ、予防、検診、診断、治療（投薬、放射線療法、手術）、サポート、緩和ケア、サバイバーシップサービスを網羅する総合的な医療費支援制度を実現する。
5. 各地域の文化に合った医療従事者向けの教材や、効果的な患者コミュニケーションに関するトレーニングを使用して、がんに関するヘルスリテラシーと教育を強化する。
6. 課税の強化、マーケティング制限、製品ラベルの改善、公教育のキャンペーンを通じて、発がん性製品（タバコ、アルコール、超加工食品）の製造、販売、マーケティングを規制する。がんの30~50%は、修正可能なリスク行動に対処することで予防できます。
7. 一般的ながんのスクリーニングプログラムを定期的実施し、それを既存の医療プログラムに統合し、さらに遠隔医療サービスとモバイルユニットを利用して、遠隔地の人々にも対策を行きわたらせる。がんの発見が早ければ早いほど、治療は成功し、医療システムや患者にとってのコストも少なくて済みます。
8. すべての患者さんの固有のニーズを認識し、患者さんにケアの決定に積極的に関わってもらう、患者さんを中心としたケアを促進する。
9. 地域コミュニティと協力してより効果的かつ人間中心のプログラムをつくり、多様な社会的指標に基づく偏見や先入観を是正することで、個人のがん治療へのアクセスを妨げている、医療に関する社会の構造的な決定要因に対処する。

すべての市民の福祉を保健政策の中核に据え、すべての人が状況に関係なく、命を救うケアに平等にアクセスできるようにしなければなりません。

がんから生きのびられるかどうかは、その人の住んでいる場所に左右されるべきではないのです。

この件に関する詳しい情報は、[www.worldcancerday.org](http://www.worldcancerday.org) をご覧ください。

以上、どうぞよろしくお願い申し上げます。

有権者より